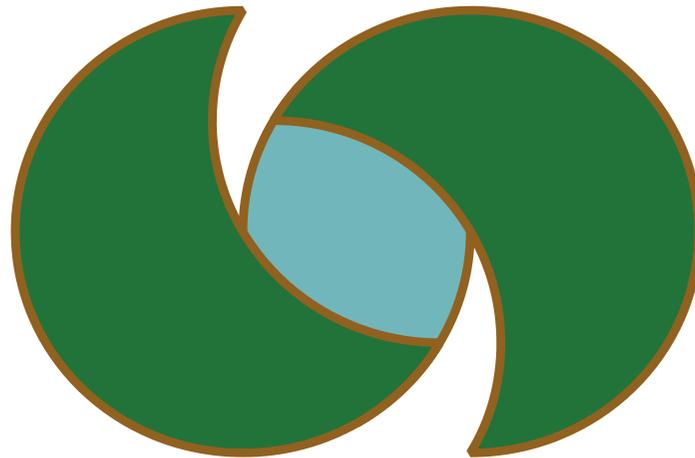


第6次総合計画行政評価

令和2年度【施策評価】検証

ver.6



長野県 池田町

目次

目次	…	2
評価検証結果	…	3

◆基本目標1 環境に係る施策

(1) 自然環境の保全活用、美しい景観づくり	…	4
(2) 治山・治水・利水の推進	…	5
(3) 環境衛生の向上、資源循環の推進	…	6
(4) 公園緑地の整備活用	…	7

◆基本目標2 子育て支援・教育に係る施策

(1) 子育て支援、青少年健全育成	…	8
(2) 保育、幼児・学校教育の充実	…	11
(3) 生涯学習のまちづくり	…	13
(4) 生涯スポーツの推進	…	15
(5) 交流の拡充	…	16

◆基本目標3 生活基盤の整備・移住定住に係る施策

(1) 道路の整備	…	17
(2) 住宅対策の推進	…	18
(3) 上下水道の整備	…	19
(4) 交通の整備	…	20
(5) 移住定住の促進	…	21

◆基本目標4 産業に係る施策

(1) 農業の振興・森林の保全活用	…	22
(2) 商業の振興	…	23
(3) 工業の振興	…	24
(4) 観光の振興	…	25
(5) 6次産業化の推進	…	26
(6) 雇用と労働	…	27

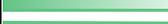
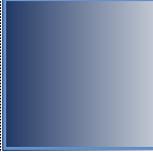
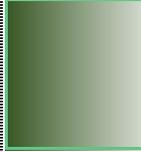
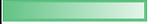
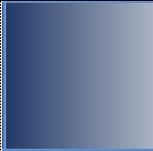
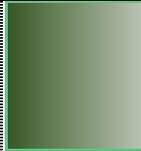
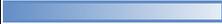
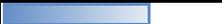
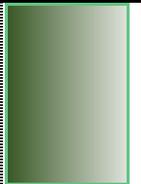
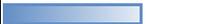
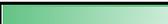
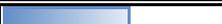
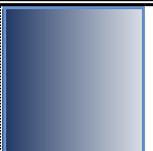
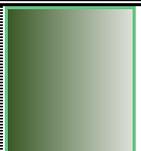
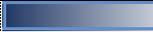
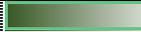
◆基本目標5 福祉と人権に係る施策

(1) 住民福祉の向上	…	28
(2) 保健・医療	…	29
(3) 人権の尊重・男女共同参画の推進	…	30

◆基本目標6 消防・防災・防犯、行政運営に係る施策

(1) 消防・防災・防犯体制の整備	…	31
(2) 開かれた町政と協働のまちづくり	…	32
(3) 財政の健全化	…	33
(4) 行政の効率化・地域情報化の推進	…	34
(5) 行政の広域化	…	35

令和2年度事業 評価検証結果(差し替え)

基本目標	施策番号	施策項目	達成度			
			R2目標に対するR2実績	平均	R5目標に対するR2実績	平均
1 環境に係る施策	1-1	(1)自然環境の保全活用、美しい景観づくり	 83%		 73%	
	1-2	(2)治山・治水・利水の推進	 100%		 81%	
	1-3	(3)環境衛生の向上、資源循環の推進	 95%		 93%	
	1-4	(4)公園緑地の整備活用	 0%		 0%	
2 子育て支援・教育に係る施策	2-1	(1)子育て支援・青少年健全育成	 74%		 60%	
	2-2	(2)保育、幼児・学校教育の充実	 100%		 100%	
	2-3	(3)生涯学習のまちづくり	 76%		 65%	
	2-4	(4)生涯スポーツの推進	 100%		 90%	
	2-5	(5)交流の拡充	 50%		 25%	
3 生活基盤の整備・移住定住に係る施策	3-1	(1)道路の整備	 100%		 93%	
	3-2	(2)住宅対策の推進	 83%		 38%	
	3-3	(3)上下水道の整備	 98%		 98%	
	3-4	(4)交通の整備	 100%		 100%	
	3-5	(5)移住定住の促進	 81%		 74%	
4 産業に係る施策	4-1	(1)農業の振興・森林の保全活用	 67%		 31%	
	4-2	(2)商業の振興	 100%		 100%	
	4-3	(3)工業の振興	 92%		 67%	
	4-4	(4)観光の振興	 63%		 55%	
	4-5	(5)6次産業化の推進	 96%		 42%	
	4-6	(6)雇用と労働	 61%		 44%	
5 福祉と人権に係る施策	5-1	(1)住民福祉の向上	 100%		 93%	
	5-2	(2)保健予防・医療の充実	 87%		 83%	
	5-3	(3)人権の尊重・男女共同参画の推進	 67%		 67%	
6 消防・防災・防犯、行政運営に係る施策	6-1	(1)消防・防災・防犯体制の整備	 58%		 35%	
	6-2	(2)開かれた町政と協働のまちづくり	 75%		 72%	
	6-3	(3)財政の健全化	 89%		 89%	
	6-4	(4)行政の効率化・地域情報化の推進	 0%		 0%	
	6-5	(5)行政の広域化	 100%		 100%	
平均				78%		68%
統計	評価		件数			
	～100%		 12件	 1件	 9件	 0件
	～90%		 8件	 3件	 6件	 2件
	～70%		 6件	 2件	 5件	 4件
0～50%		 2件	 0件	 8件	 0件	

施策分野	1 環境に係る施策	基本施策名	(1)自然環境の保全活用、美しい景観づくり
------	-----------	-------	-----------------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
 83%	 73%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)美しいまちづくりへの取り組み

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 美しいまちづくり行動デーの継続実施(県道沿線除草)10月3日 約150人参加	①	1回	町づくり推進係
2 まちなか第1・2駐車場に花壇を設置し、地元自治会に花苗を提供し管理を委託	②	春秋各1回	花とハーブの里推進係
3 個人、団体への「花とハーブの里づくり推進事業補助金」を継続実施	③	申請件数21件	花とハーブの里推進係
4 池田町土地利用調整計画(第2期計画)の策定	④	完了	町づくり推進係
5 農村環境保全に取組む地区農地・水保全会に「多面的機能支払交付金」を継続実施	⑤	16組織	耕地林務係

(2)自然環境保全活用への取り組み

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 住宅用太陽光発電システム設置費用補助金の継続実施	①	申請数8件	環境整美係
2 特定外来植物の駆除を呼びかける記事を広報いけだに掲載	②	1回	環境整美係
3 防犯灯のLED化の継続実施	③	53基	環境整美係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 若者・子育て世代の「自然の豊かさ、景色の美しさ」に対する満足度	-	-	-	-	-	90%	評価なし	評価なし	無	-	当該満足度は2015年の「人口ビジョン総合戦略策定アンケート」を基にしている。次回は令和5年度に調査予定。	町づくり推進係	若者・子育て世代アンケート結果【戦略】
2 花・ハーブなどによる新規の植栽活動・事業の件数	0件	延7件	1件	1件	1件	1件	100%	100%	有	-	花とハーブの里づくり事業補助金 新規申請者数 7件	花とハーブの里推進係	5年間合計【戦略】
3 池田町の土地利用及び開発指導に関する条例に反する開発事業	0件	0件	0件	0件	0件	0件	100%	100%	無	-	ルールに反した案件は無く、土地利用制度のルールに沿って開発事業が進められている。	町づくり推進係	5年間合計【戦略】
4 住宅用太陽光発電システム設置費補助交付件数	12件	延20件	延40件	延60件	延80件	100件	50%	20%	有	-	申請8件中7件に上限10万円の補助を行った。	環境整美係	5年間合計

3 取り組み結果、課題

美しいまちづくり行動デーが住民に徐々に定着するとともに、地域で組織されている農地水保全会では、農村環境保全のための草刈り(全16組織)が行われるなど、住民が主体となった美しいまちづくりの活動が広がってきている。花とハーブの里づくり事業補助金では、21件の申請があり各家庭・団体に植栽活動を実施。池田町ハーブセンターハーブガーデンでは、5月にボランティア団体による植栽のバージョンアップを行った。

また、池田町の土地利用及び開発指導に関する条例については的確に運用され、景観形成に一定の効果を出している。

自然環境保全の取組みでは、再生可能エネルギー利用推進として、住宅用太陽光発電システム設置補助金を交付し、8件の導入があったが、予算の範囲内での補助となり10月上旬には申請締切となった。

4 今後の方向性

池田町土地利用調整計画は、令和2年度に第2期計画(令和3年10月から10年間)を策定し令和3年度から運用予定。

自然環境保全のため、個人及び自治会に特定外来植物の駆除を呼びかけ、地区の活動組織に対しても農村環境保全に向けた幅広い活動が行われるよう、啓発、助言を行い、生息地域拡大を阻止する。また、再生可能エネルギー普及のため、既存の施策の充実と新たな施策の検討を進める。

花づくりによる美しいまちづくりについては花壇等の適正な維持管理のため、自主的かつ継続的に活動できる者を育成・支援していく。

令和2年度 基本施策評価シート 1-2

施策分野	1 環境に係る施策	基本施策名	(2) 治山・治水・利水の推進
------	-----------	-------	-----------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
100%	81%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1) 治山事業

主な取り組み	対応する主要施策番号	回数等	担当係・備考
1 治山事業の導入・実施を県へ要望	①	年1回	耕地林務係・緊急を要するものは随時
2 治山事業に係る地元自治会との懇談会	①	1回	耕地林務係
3 砂防事業、地すべり対策事業、急傾斜地崩壊対策について県へ要望	③	通年	建設管理係

(2) 治水事業

主な取り組み	対応する主要施策番号	回数等	担当係・備考
1 多面的機能支払交付金により施設の長寿命化に向けた取組が活動組織により実施された	①	16組織	耕地林務係
2 土地改良施設維持管理適正化事業により、水門、水路の改修を実施した	①②③	水門補修1基	耕地林務係
3 県単農業農村基盤整備事業により、水門、水路の改修を実施した	①②③	転落防止柵L=475m 水路改修L=341m 水路改修9基	耕地林務係
4 洪田見地区の水路修繕実施	③	1箇所	建設管理係

(3) 利水事業

主な取り組み	対応する主要施策番号	回数等	担当係・備考
1 多面的機能支払交付金により施設の長寿命化に向けた取組が活動組織により実施された	①	16組織	耕地林務係
2 池田町土地改良区による水路の維持及び水利調整により安定した水利を確保することができた	①	通年	耕地林務係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 東山森林整備面積	0ha	延16.29ha	延10ha	延19.29ha	延20ha	20ha	100%	81%	無	—	中島地区 間伐:5.98ha 更新伐:1.56ha 新池田北部 主伐:0.36ha 間伐:1.58ha 大峰高原 間伐:5.93ha 東山地区 枯損木伐倒搬出:0.88ha	耕地林務係	5年間に森林整備協議会が整備を行った面積

3 取り組み結果、課題

・治山事業について、砂防事業、地すべり対策事業、急傾斜地崩壊対策事業を実施し、住民の安全・安心が向上された。しかし保全対象が乏しいため、事業化に至らない箇所もある。
 ・治水・利水について、個別施設計画策定により補助事業導入による改修が可能となるが、計画に位置付けられない支線水路については対象とならないため、多面的機能支払交付金により、各活動組織での改修が必要となる洪田見地区水路修繕を実施し、住民の安心・安全が向上された。しかし、予算に限りがあり、全町的には実施箇所が多数あるため事業実施までに時間を要す。

4 今後の方向性

各地区の活動組織(多面的機能支払交付金、森林整備協議会)と連携し、課題解決のための取組を引き続き推進していきたい。

令和2年度 基本施策評価シート 1-3

施策分野	1 環境に係る施策	基本施策名	(3) 環境衛生の向上、資源循環の推進
------	-----------	-------	---------------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
95%	93%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)環境衛生向上全般

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	生ごみ処理機設置補助金の継続実施	①	補助件数 19件	環境整美 係
2	ごみ削減の啓発記事を広報いけだに掲載	①	12回	環境整美 係
3	せん定枝チップ化事業	①	年2回	環境整美 係
4	プリンターインクカートリッジ回収	①	3か所	環境整美 係
5	不法投棄監視連絡員によるパトロールの継続実施	②	月2回	環境整美 係
6	農業用廃プラスチックを農家から回収し処理	③	2,429Kg	農政係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 一般廃棄物年間総排出量	3,011トン	3,011トン (仮R1値)	2,900トン	2,850トン	2,800トン	2,800トン	評価なし	評価なし	無	—	排出量の確定が10月のため令和2年度実績は未定	環境整美 係	—
2 一人当たり燃えるごみ排出量	142.6kg	143.8kg	137kg	136kg	135kg	135kg	95%	93%	無	—	前年比0.8%増加、新型コロナウイルスの影響により、在宅時間の増加や衣類布類の回収が一時停止されたため、燃えるごみとして処分されるなどの影響が出たと考えられる。	環境整美 係	—

3 取り組み結果、課題

19件の生ごみ処理機設置補助を行い、22基の設置がされた、より利用しやすくするため、R3から申請手続きを簡素化する。広報いけだに毎月ごみ削減記事を掲載し、啓発に努めたが、1人当たりの可燃ごみの排出量は前年比で0.8%の増加となったため、削減に向けての施策をさらに検討する必要がある。公共施設でのインクカートリッジ回収を開始するなどゼロカーボンに向けた取り組みに着手した。不法投棄物は小・中規模のものが数件発見され、担当者が対応して撤去した。

4 今後の方向性

リサイクル推進委員会を開催し、燃えるごみ削減やゼロカーボン実現のための具体的施策の検討を行う。また発生抑制、分別、再利用などの3Rの理念に基づいた、燃えるごみの削減のため無理せず実施できるような方法の啓発や、生ごみ処理機を活用したごみの削減をさらに進める。不法投棄の対策については、引き続き監視施策を実施していく。

施策分野	1 環境に係る施策	基本施策名	(4) 公園緑地の整備活用
------	-----------	-------	---------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
0%	0%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1) 公園緑地整備

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 林中ふれあい広場、高瀬橋東ラベンダー園、東山夢の郷公園の管理	②	適宜	建設管理係
2 クラフトパーク、かえで広場の管理。かえで広場では記念樹の植栽を行った。	②	適宜	クラフトパーク係
3 てるてる広場(2,019㎡、芝生張、トイレ、駐輪場、身障者用駐車場4区画、照明灯5基、水飲み場1基)	①		総務係
4 児童公園にある遊具の遊具の点検は6か所12基実施し、B判定で使用できる状態と確認できた	③	1回	福祉係

(2) 施設有効活用

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 クラフトパークにおいてスケッチ会(7名参加)を実施	①	1回	クラフトパーク係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 スケッチおよび美術館鑑賞を目的とする団体客の誘致	年間1団体	年間0団体	年間1団体	年間1団体	年間2団体	3団体	0%	0%	無	-	コロナウイルス感染症の影響により団体の受け入れはキャンセルとなった。	クラフトパーク係	-
2 新たな観光事業実施	年間2事業	年間0事業	年間1事業	年間2事業	年間2事業	年間2事業	0%	0%	無	-	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、定着しつつあった旅行会社とのツアー造成商品が中止となった。	観光係	-

3 取り組み結果、課題

・クラフトパーク内設備の老朽化が進んでいるため、設備の更新が必要。
 ・クラフトパーク公園緑地管理はシルバー人材センターに委託しているが、高齢化により作業指示を出すリーダー的役割やトラクター、芝刈り機等の重機操作できる人材不足が課題。
 ・クラフトパーク南側駐車場の屋外トイレの老朽化が課題。

4 今後の方向性

・新規に整備された公園(かえで広場、てるてる広場)の有効活用とともに、既存の公園施設の設備更新を計画的に行っていく。
 ・クラフトパークの公園緑地管理について委託先の継続的な確保を模索する。
 ・児童遊園の遊具点検でC異常により修繕判定D緊急修繕判定が出た場合には、修繕せず撤去し、新たにその場所に遊具の設置をすることなく、町内数か所にまとめて設置という方向にする。

令和2年度 基本施策評価シート 2-1

施策分野	2 子育て支援・教育に係る施策	基本施策名	(1)子育て支援・青少年健全育成
------	-----------------	-------	------------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
 74%	 60%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)出会いから結婚までの支援

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 新入社員歓迎会 新型コロナウイルス感染症対策のため未実施	①	0	商工係
2 [若者交流]「ヤングパワーバンク」による若者交流イベントを引き続き実施した。	①	10回	生涯学習係
3 【婚活セミナーの開催】 マナーや身だしなみ、コミュニケーションスキルを学ぶことで個人の魅力の向上をはかる。非接触による個別対応を実施。(委託) 3名参加	②	1回	町づくり推進係
4 【結婚推進イベントの開催】 真剣に結婚を考える男女の出会いの機会を提供する。(委託) 20名参加	②	1回	町づくり推進係

(2)子育て支援全般、青少年健全育成

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 不妊・不育症治療助成(制度はあるが申請者が無かった)	①	0	健康増進係
2 ・出産祝い金支給 出産祝い金 30,000円×30名 弔慰金 10,000円×1名	①	31名	住民係
3 町認定こども園に通う3～5歳までの子どもの副食費(おかず・おやつ等)の費用は保護者負担とすべき所、(一定の要件を満たしていれば減免対象となり国庫補助支給となる)免除とした。(約9,180千円)	①	約170人対象 6ヶ月	学校保育係
4 入学祝い金 小中学校へ入学する児童生徒の保護者へ支給 支給額 小学校入学5万円×74人 中学校入学3万円×82人	①	156人	学校保育係
5 給食費補助 小学生25,800円×約404人分、中学生26,600円×約220人分	①	約624人	学校保育係
6 子どもや子育てに関する相談対応及び支援	②③	延946回	多世代相談センター
7 乳幼児健診・育児学習会、離乳食教室時の学習	⑥	59回 延べ454人	健康増進係・多世代相談センター他
8 少子化対策プロジェクトを開催し、今後、庁内の情報共有を行うことを決めた。	その他	1回	町づくり推進係他
9 児童センター運営及び、放課後児童クラブ・放課後子ども教室実施による、児童健全育成。	⑧	開催回数計 368回	児童センター
10 青色防犯パトロール車による町内の見回り実施	⑨	122回	環境整美係
11 小学生下校の時間帯に合わせ、防災行政無線で小学生自身が地域の方へ見守りをお願いする放送を行い、町全体で子どもを見守る意識を育てる啓発を行った。(学校登校期間中毎週月・水曜日)	⑨	週2回	学校保育係
12 地域の自然、歴史の情報を、学習活動に活かしていただくため、新任教職員研修会実施(池田小、高瀬中)	⑩	2校×1回	学校保育係
13 ふるさと学習 A土曜ふるさとクラブ 地域ボランティアの方を講師に小学生親子対象に通年土曜日に講座を開き、地域の方との結びつきを強め体験活動により豊かな人間性を育めるよう努めた。 B 米作り 営農支援センター、農業委員、地域の方の支援により両小学校で米作りの体験を行い、稲作の知識を深め、食育、郷土愛を育てる機会とした。	⑩	A11講座親子参加者 128人 B小学校×2校	学校保育係
14 「正しいメディア利用を考える日」を設定し、次の願いを小中学校PTAから家庭に呼びかけ意識啓発を行った。 1 適切な使用方法についての確認 2 安全にメディアを使う良さや楽しみについて、家庭で体験や共有 3 メディア以外にも目を向け、家族で触れ合い豊かな時間を過ごす機会とする	⑪	3回×3校	学校保育係
15 【青少年健全育成】青少年の非行・被害防止全国強調月間の7月に、青色防犯パトロール放送で、家族での安全なインターネット利用についての啓発活動を実施	⑪	1ヶ月間	生涯学習係
16 [子ども読書活動推進]セカンドブック事業・小学校1年生に、リストの中から1冊を選んでいただき、セカンドブックとしてプレゼントをした。親子で本について話をするきっかけ作りとし、家庭読書の推進を図った。 対象児童 池田小35名、会染小39名	⑬	小学校×2校	学校保育係
17 [子ども読書活動推進]町図書館での読み聞かせやブックスタート支援事業を行い(親子に絵本プレゼント、年5回)、本に親しむ機会を設けた。	⑬	年5回 56人	生涯学習係 健康増進係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 婚姻率(人口千人あたりの婚姻件数)(人口動態統計・毎月人口異動調査)	4.46‰	2.7‰	3.8‰	3.9‰	4.1‰	4.3‰	71%	63%	無	—	【婚姻率(‰)＝年間婚姻届出件数27件／10月1日現在人口9,714人×1,000】 婚姻率は不確定要素により変動する。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、出会いの場の減少や収入減、結婚を先延ばしにする等の要因が考えられる。	町づくり推進係	【包括戦略】
2 合計特殊出生率	未発表	未発表	1.45	1.47	1.49	1.5	評価なし	評価なし	無	—	合計特殊出生率の市町村別値は、平成20年から平成24年間の数値以降発表されていない。	多世代相談センター	【包括戦略】
3 1年間の出生数	47人	28人	50人	53人	56人	60人	56%	47%	有	—	アパート等賃貸住宅は、近隣住宅と比較して戸数が少ない。また、宅地分譲も少ない状況もあり、子育て世代が流出してしまうと推察する。	多世代相談センター	5年間平均
4 20代、30代の人口の純移動数	14人	△57人	△35人	△33人	△31人	△30人	37%	10%	無	—	20代、30代の年度当初と年度末時点の数値 年度当初1,460人→年度末1,403人：△57人 対象年齢の転出が転入を上回った。	移住定住促進係	5年間平均 【包括戦略】
5 男女問わず参加しやすいサークル活動の新規立ち上げ件数	0	延2件	延1件	延2件	延3件	3件	100%	66%	有	—	2件の新規活動開始(合唱、フラダンス)	生涯学習係	5年間合計 【戦略】
6 若者交流会の開催頻度	22回	10回	6回	6回	6回	年6回以上	100%	100%	有	—	「ヤングパワーバンク」による公民館講座「みらい塾」の開催回数。	生涯学習係	【戦略】
7 いけだDIネットを介した成婚者数	0人	延2人	延2人	延4人	延4人	4人	100%	50%	有	—	DIネットへの結婚相談件数が伸び悩んでおり、見合いまで至る案件が非常に少ない。(数値は2人＝1組)	町づくり推進係	5年間合計 【戦略】
8 若者・子育て世代(既婚の方)の「子育て支援サービス」に対する満足度	-	-	-	-	-	70%	評価なし	評価なし	無	—	当該満足度は2015年の「人口ビジョン・総合戦略策定アンケート」を基にしている。次回は令和5年度に調査予定。	多世代相談センター	若者・子育て世代アンケート結果 【戦略】
9 子どもの関わる事件・事故件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	100%	100%	無	—	虐待が重篤事案に発展しないように、また、虐待行為等が早期に発見できるように学校や保育園を中心に関係機関との連携強化に努めた。	多世代相談センター	5年間合計 【戦略】
10 「ふるさとガイド」の育成に資する講座などの開催頻度(教員対象の歴史など講座開催数)	1回	2回	年1回以上	年1回以上	年1回以上	年1回以上	100%	100%	無	—	小中学校新任転任教職員を対象に共同で講座を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から学校毎行うことになり、池田小、高瀬中で実施したが、会染小では実施出来なかった。	学校保育係	【戦略】
11 男女が共に働きやすく、仕事と家庭を両立しやすい職場環境づくりに取り組む企業の広報などでの紹介頻度	0回	0回	1回	1回	1回	年1回以上	0%	0%	無	—	未実施 男女共同参画、女性の活躍支援について引き続き取り組んでいるが、子育て支援に関係する取り組みをしている企業の情報収集、広報までには至っていない。	商工係、生涯学習係	【戦略】

3 取り組み結果、課題

1(1)1(主な取り組みの番号 以下同じ。)
新入社員歓迎会は新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。(商工係)
1(1)4【取組結果】コロナ禍により、婚活セミナーは非接触(LINE等)により希望者へ個別に実施した。結婚推進イベント1回への参加者は20名。合計3組のカップリングに成功した。
【課題】
(いけだDIネットによるマッチング)相談員の努力により、1件の成婚。ただし地域の精通者を通じた紹介やお見合いを選択する独身者は減少しており、お見合いの設定をすること自体が難しい現状は変わらない。(町づくり推進係)
1(2)7 3歳児健診での生活リズムは、7時前に起床する割合は70.8%(R1:55.6%)、7時～7時29分起床を含めると95.8%(R1:84.4%)であった。しかし、就寝時間については21時前に就寝できている割合は25.0%(R1:22.2%)、21時～21時29分に就寝を含めると77.1%(R1:64.4%)であった。起床時間は早くなってきているためか3歳児検診における食事は朝食を食べる割合が100%であった。朝食を食べる習慣が身に付いている家庭が多いと考えられる。今後は食事の内容の充実できるよう取り組みやすい学習が必要だと考える。(健康増進係)
1(2)9・未就園児親子対象の児童センター事業、地域住民の参画を得て運営していく放課後子ども教室事業について、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止、もしくは閉館の措置をとった。
・放課後の児童の安心安全な居場所作り、自主性・社会性及び創造性の向上や基本的生活習慣のための育成支援を行った。児童クラブの過密化解消は図られたが、発達に特性がある児童の増により、職員確保が検討課題。当町に放課後等デイサービスの施設が必要と感じる(児童センター)
1(2)11 子どもの下校時、地域の方から見守っていただく体制が十分に出来ていない。(学校保育係)
その他1(2)②③社会的背景を鑑み「福祉の総合相談窓口」として多世代相談センターを設置。相談者の主体性を尊重しながら、課題を整理する事と支援者間の統制をとることに重点を置いた対応をした。(多世代相談センター)

4 今後の方向性

1(1)1 新入社員歓迎会は令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大により中止となったが、次年度感染が終息したら開催し交流の場を広げていきたい。(商工係)
1(1)4 婚活イベントにおいて、池田町の魅力体験が好評であるため、イベント内容を町の特色とリンクさせることで更なる関係人口創出を図りたい。
DIネットによるマッチングは現状難しく、現行のお見合い形式の方法から考え直す必要がある。(町づくり推進係)
1(2)74 乳幼児健診等で子どもの成長発達のために早寝早起きの重要性を今後も学習するとともに、朝食について簡単にでき、栄養バランスのとれる内容となるよう学習を充実していく。(健康増進係)
1(2)9 発達に特性のある児童が年々増え、支援を手厚くする必要がある。放課後等デイサービス事業所の進出を希望する。(児童センター)
1(2)11 地域の方からの見守り体制をR4年度コミュニティスクール(学校運営協議会制度)設置に合わせ強化したい。(学校保育係)

令和2年度 基本施策評価シート 2-2

施策分野	2 子育て支援・教育に係る施策	基本施策名	(2) 保育、幼児・学校教育の充実
------	-----------------	-------	-------------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
100%	100%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1) 保育・教育施策全般

主な取り組み				主な取り組み			
	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 保小中一貫教育の推進として県から委託を受け(2年事業1年目)、接続キキラム作成協議会(4回)を始め研修、協議などを行った。	①	接続キキラム作成協議会4回他	学校保育係	8 いじめ防止として「セカンドステップ(キレない子どもを作る教育プログラム)」「(小1 計11回)」「ステップアップ」(年長5回×2園)、「CAPワーク(子どもを暴力から守る教育プログラム)」「(児童生徒、保護者、教職員)、「CAPカフェ」の実施(未就園児保護者対象 1回)、小中学校で「人権教育」を行った	⑤	セカンドステップ小学校計11回他	学校保育係
2 会染保育園方向性について、信州学びの郷活性化委員会研究部会として「幼児教育あり方研究部会」を発足、検討した。次年度も協議は続けることとし、「中間答申」として検討内容を報告した。	②	部会5回 視察研修1回	学校保育係	9 不登校対策として校園長会等で定期的に情報交換したり、大町市中間教室(アルプスの家)紹介するなどした	⑤		学校保育係
3 学力向上施策として池田小で授業づくり研修を実施	③	1回	学校保育係	10 健やかな体づくりの推進、食育推進のため保育園では給食室探検や行事食の話など9回行い、小中学校では給食センター栄養士による講話(1回)や給食だよりによる啓発を行った(12回)	⑥⑧	認定こども園9回他	学校保育係 (給食センター)
4 体力向上施策として保育園で運動保育士による運動あそび(8回)やかけっこ教室(2回)を、小学校で柳沢運動プログラムの実施(12回)や大かえで倶楽部指導者による長野県版運動プログラムを実施した。	③⑥		学校保育係	11 保小中で一人一人の社会的役割、職業等について学んだり社会見学を行うとともに、中学校で職場体験を行い、「働く」ことの意義を学ぶ。	⑦	高瀬中2年職場体験1回他	学校保育係
5 特別支援教育研修会の実施(保育園2園、高瀬中) 「池田町立小・中学校における副学籍による交流及び共同学習実施要綱」制定 町に住居登録があり特別支援学校に在籍する児童生徒と、小・中学校児童生徒が、地域で共に学び、共に育ち、仲間意識を育むため体制づくりを進めた。	④	研修会3回他	学校保育係	12 保小中で防災について日頃から学ぶと共に、外部講師の講話により知識・意識を高める。	⑧	町危機管理対策室専門員より講話小学校×2校他	学校保育係、危機管理対策室
6 教育支援員及びスクールカウンセラーの配置	③④	8名及び4名	学校保育係	13 自然保育推進のため保育園で木の実を遊び道具としてつかったり、七夕用の笹に子ども達が作った作品を飾ったりした。 ・大峰高原での活動は、新型コロナウイルス感染症防止のため実施出来なかった。	⑨		認定こども園
7 [学習支援]小人数学習 平日毎日 120回 子どもの学び支援塾 毎週水曜日 夏季休業中 延94回 [部活動支援]地域の方より中学校部活動の指導	③⑤	少人数学習120回他	学校保育係	14 [民間事業者参入検討]会染保育園方向性を検討する中で可能性として出たが、十分な議論までは出来なかった	⑩		学校保育係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考	
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度				
1 認定こども園 待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	100%	100%	無	—	待機児童は無い。	学校保育係	-	
2 朝食を毎日摂る子ども(保育園から中学生)の割合	参考値 99%(保育園のみ)	参考値 99.6%(保育園のみ)	97%	98%	98%	98%	98%(食育推進計画最終年度である2021年度時点)	評価なし	評価なし	無	—	小中学校共同で開催予定の学校保健委員会で生活習慣アンケートを実施する計画があったが、新型コロナウイルス感染防止の面から委員会開催が見送られ、アンケートも実施出来なかった。	学校保育係	アンケート結果

3 取り組み結果、課題

1(「主な取り組み」の番号 以下同じ。) 保小中15年プラン「実践ガイドブック」を作成、「15歳の全ての生徒に求める姿」を共有して、保育・授業の充実を図った。校園長会・教頭主任部会・連携担当主任部会を主な組織として、合同研修会等を実施。教職員の共通認識、意識醸成、業務多忙による実践の困難さが課題である。

2 会染保育園の方向性について、財政面で課題がある中、町民との合意の上保育環境の向上を図るといふ難しさがある。会染小大規模改修を数年の内にやらなければならないが、財源の確保と施設の長期的な方向性付けが課題である。

4、6 池田町は他市町村と比較し、特別支援学級への入級率が高い。インクルーシブ教育の推進が求められる中、成長と共に通常学級で学んだ方がその子にとって良い場合がある。通常級の方が適切な学びの場であるか、毎年見直し、より良い支援の体制を取る必要がある。

8 いじめ問題はどの学校でも起こり得る可能性がある。インターネットへの書き込みも含め早期発見、適切な対応を取る必要がある。

9 不登校について、多世代相談センターを中心に関わりを強めているが、課題はその子により様々で、解決は困難である。

4 今後の方向性

1 15年プラン推進に向けたシステムの確立、0歳(妊娠期)～2歳の発達や学びの接続、保護者連携、地域発信を行う。

2 会染保育園の方向性について、客観的な資料に基づき確かな方向性を示すことが出来るよう「教育大綱普及推進研究部会」で協議をしていく。

- ・会染小学校の大規模改修を令和7年度に着工出来るよう進める。
- ・GIGAスクール構想推進によりICT環境の整備。

5 教職員のインクルーシブ教育への理解、共通認識を持てるよう研修や協議等を行う。教育支援員が支援方法について校長、担任等と共通認識を持ち、適切な支援が出来るよう、教育委員会と定期的に協議する場を設ける。

8 いじめ防止対策としてセカンドステップ、CAPIによるワークを続けるとともに、学校や諸機関との情報共有、連携体制を強める。保護者への啓発も継続して行う。

9 民間フリースクール利用について、出席扱いに関わるガイドラインを作成。

- ・不登校等対策のため、保育園からの育ちや支援の仕方がわかる個別支援シートを作成、その子に応じた支援のあり方を検討。
- ・不登校(傾向)児童生徒がITを利用して学習に取り組めるように環境を整える。

令和2年度 基本施策評価シート 2-3

施策分野	2 子育て支援・教育に係る施策	基本施策名	(3)生涯学習のまちづくり
------	-----------------	-------	---------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
 76%	 65%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)芸術文化・生涯学習の振興、各文化施設の有効活用

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 浅原六朗文学記念館において、誰もが気軽に芸術や文化に触れることができる環境を整え、地域づくりにつながる場を創出した。てるてる坊主童謡祭、六朗先生を偲ぶ会及び六朗文学講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	①⑦⑧	来館者 256人	文化財 保護推進 室
2 美術館において新型コロナウイルス感染症の対策を行い、5件の企画展を実施した。	①⑨	来館者 7563人	クラフト パーク係
3 交流センター利用者の会主催によるイベント1回開催、月1回の読書会の実施。交流センターに70,750人の来場があり、多くの方に利用された。	①⑤⑥	イベント1	生涯学習 係
4 生涯学習講座の実施。インターネットを活用した講座の実施。	②③④	講座参加 者608人	生涯学習 係
5 図書消毒機の導入、換気などの実施により新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行い図書館運営を行った。延べ貸出者12,407人、年間貸出冊数58,252冊	②⑥	年間貸出 冊数58,252 冊	生涯学習 係
6 創造館では公募コンサートのYoutubeへの配信を2回、演奏家サポート月間の実施など、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した事業を実施した。	①⑧	開催事業7	クラフト パーク係

(2)文化財の保護活用

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 文化財展示室が7月に開館となった。館内には展示室のほか、調査研究室、保管室、学習室があり文化財の資料の保存と活用がさらに推進され、広く町民の学びの場となった。	②	来館者 228人	文化財保 護推進室

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 社会資本総合整備計画に基づく各種事業の進捗率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	無	-	令和元年度に図書館を併設した交流センターかえで及びかえで広場の整備が完了し、供用を開始しているため、目標は達成した。	生涯学習係	【戦略】
2 「かえでの会」(交流センター かえで利用者の会)加入者	64人	64人	50人	50人	50人	50人	100%	100%	無	-	新規加入・退会なし かえでの会主催講演会1回開催	生涯学習係	-
3 生涯学習講座参加者数	1,918人	608人	1,000人	1,000人	2,500人	3,000人	60%	20%	有	-	みのり塾307人(11回開催) ふるチャレ塾35人(5回開催) ポレポレ塾216人(8回開催) フラダンス塾50人(5回開催) ※すべて延べ人数	生涯学習係	-
4 生涯学習講座終了後受講者がサークルとして活動する数	5サークル	延6サークル	延5サークル	延5サークル	延5サークル	5サークル	100%	100%	無	-	新規:フラダンス 既存:カラオケ、着物着付け、ギター、パソコン、ウクレレ	生涯学習係	-
5 サークルと協働で生涯学習事業を開催した数	2事業	1事業	2事業	2事業	3事業	4事業	50%	25%	有	-	俳句講座を1回開催	生涯学習係	-
6 図書館貸出人数	6,619人	12,407人	9,500人	10,000人	10,500人	11,000人	100%	100%	無	-	利用者数12,407人(延べ人数)、年間貸出冊数58,252冊	生涯学習係	-
7 浅原六朗文学記念館コンサート開催数	年1回	年0回	年1回	年1回	年1回	年1回	0%	0%	有	-	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	生涯学習係	-
8 美術館入館者数	14,202人(うち有料9,487人)	7,563人(うち有料5,052人)	15,000人(うち有料入館者数10,000人)	15,000人(うち有料入館者数10,000人)	17,000人(うち有料入館者数13,000人)	20,000人(うち有料入館者数15,500人)	50%	35%	無	-	5企画展実施、入館者7,363人(うち有料5,052人)	クラフトパーク係	-
9 創造館催し開催数	自主開催8 民間開催1	自主開催7 民間開催1	自主開催5 民間開催1	自主開催5 民間開催1	自主開催7 民間開催2	自主開催8 民間開催2	100%	70%	有	-	公募コンサート2回、秋まつり1回、早起きスケッチ会、展示2回、演奏家サポート月間1回、(民間)ジャズコンサート1回	クラフトパーク係	-
10 芸術・文化のふるさとづくりの新規イベントなどの取り組み件数	0件	1件	1件	1件	1件	1件	100%	100%	有	-	一般向け俳句講座を実施した。	文化財保護活用推進室	5年間合計 【戦略】

3 取り組み結果、課題

新型コロナウイルス感染症の影響により、講座参加者、入館者は減少となった。文化財展示室が開館され、町の文化財を後世に伝えていくための拠点ができた。交流センターを生涯学習の拠点として活用し、多くの人に生涯学習の機会を提供することが必要になっている。
フリースペースや図書館学習コーナーの利用者が増え、平日の日中は社会人、放課後、休日は、中学生を中心とした人たちの居場所となってきた。

4 今後の方向性

- ・文化財展示室を中心に歴史資料、文化資料を周知啓発をしていく。
- ・広い年代の方へ社会情勢に応じた生涯学習の場を提供していく。

令和2年度 基本施策評価シート 2-4

施策分野	2 子育て支援・教育に係る施策	基本施策名	(4) 生涯スポーツの推進
------	-----------------	-------	---------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
100%	90%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)環境整備、事業展開

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	施設の適正な維持管理 週1回の点検見回り清掃	①	70回	生涯学習係
2	大かえで倶楽部へ補助金を交付による事業支援により、スポーツ事業の充実を図った。(各種教室・イベント)	②③	603人	生涯学習係
3	コロナ禍における運動支援としてユーチューブ動画12本の配信を行った。	④	再生回数 1,100回	生涯学習係
4	体育協会・少年少女スポーツクラブ、各種団体へ補助金支援による振興を図った。	⑤	11団体	生涯学習係
5	松本山雅FCとの連携によるスポーツ振興(PV、小学生試合観戦、小学生キャリア教育、ウォーキングサッカー)	⑥	4回	生涯学習係
6	長野県運動プログラムの導入により小学校低学年の体育支援を行った。(5クラス×10回)	④	50回	生涯学習係
7	障害者スポーツの推進として、障害者スポーツのフットベースボール体験会の開催を行った。	④	1回	生涯学習係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 軽スポーツおよびレクレーション教室年間開催数	8教室	8教室	8教室	9教室	9教室	10教室	100%	80%	有	—	当初コロナ禍で教室開催が遅れたが、7月からは軌道に乗り教室は開催できた。	生涯学習係	—
2 総合型地域スポーツ倶楽部「大かえで倶楽部」会員数	305人	442人	300人	300人	300人	300人	100%	100%	有	—	人気のあるヨガ教室を前期・後期・夜の部に分け、大勢の皆様に参加できるように教室内容を改善した。	生涯学習係	—

3 取り組み結果、課題

・今後の大かえで倶楽部の発展には、指導者の確保、育成、自主運営財源の確保が課題。また、少子化、高齢化に伴い町スポーツ協会加盟クラブ、少年少女スポーツクラブ等のクラブ員も減少してきているため、クラブ員確保も課題となる。
 ・本年度から小学校低学年へ導入した長野県版運動プログラムにより、運動遊びを通して運動の持つ特性や魅力にふれ、子供たちが「できた」「わかった」達成感、自信を育む事ができ、子供の心と体の成長に必要なプログラムのため今後も継続して指導を行う。

4 今後の方向性

・各種目の団体の高齢化が進み、新規のクラブ員がふえないため、子供のころから運動をする習慣をつけるように、小学校低学年、幼児の運動教室を展開する。

令和2年度 基本施策評価シート 2-5

施策分野	2 子育て支援・教育に係る施策	基本施策名	(5)交流の拡充
------	-----------------	-------	----------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
 50%	 25%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)横浜磯子区岡村西部連合自治会との交流

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 児童交流を、当町と横浜市の会場で隔年交互に開催し、双方の価値観を共有(2年度は池田町で開催の予定も新型コロナで中止)	①	0	町づくり推進係

(2)交流の拡大、連携

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 大阪、愛知、福井、山梨、県内からの招待チームによるチャンピオンズサッカースポーツ少年団大会の交流がコロナの影響で開催できなかった。	①	0	生涯学習課

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 大北圏域以外の都市・自治体との交流事業	1件	0件	1件	1件	1件	年1件以上	0%	0%	有	-	横浜市磯子区岡村西部連合自治会との交流を予定するも、新型コロナウイルスの影響で実施を断念した。	町づくり推進係	【戦略】
2 大北圏域以外の都市・自治体との交流 交流先数	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	2カ所以上	100%	50%	有	-	横浜市磯子区岡村西部連合自治会	町づくり推進係	-

3 取り組み結果、課題

<p>【横浜交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市磯子区岡村西部連合自治会との交流を予定するも、新型コロナウイルスの影響で実施を断念した。来年度は池田町に受け入れて開催予定。 課題 なかよし学校同士交流のため、H30に環境整備(skypeの利用)するも活用は進んでいない。学校主導で交流が深まるよう、教委・学校と協議の必要あり。 <p>【国際交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒には、英語圏の国対象が望ましいが、コロナ禍もあり用途が立たない。
--

4 今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> 横浜交流は学校主導のほか保護者の協力を得て実施している。さらに児童生徒の創意工夫を生み出し、自主性を高めるように導き、児童にとって発展性のある交流の実現を目指す。 国際交流について、相手先を検討し、友好都市等の締結を目指す。

令和2年度 基本施策評価シート 3-1

施策分野	3 生活基盤の整備・移住定住に係る施策	基本施策名	(1)道路の整備
------	---------------------	-------	----------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
100%	93%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)安全で快適な道路環境づくり

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 県道等の道路整備について県へ要望した。	①	通年	建設管理係
2 社会資本整備総合計画による町道整備が完了した。	②	1	土木係
3 修繕計画に基づく橋梁修繕を実施した。道路改良、舗装、老朽箇所への補修を実施した。	③④	通年	土木係
4 除雪等実施した。	⑤	降雪時	建設管理係
5 協働による農道の適切な維持管理を実施した。	⑥	通年	耕地林務係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 町道拡幅改良	52.3%	52.4%	52.4%	52.5%	52.6%	53%	100%	99%	無	—	年次計画に従い町道登波離橋線、町道八代線、町道380号線道路改良工事実施。	土木係	-
2 修繕を要する橋梁17橋のうち、改修した割合	29%	41%	29%	35%	41%	47%	100%	87%	無	—	修繕レベル3以上の橋梁2橋について修繕実施。	土木係	修繕レベル3以上の橋梁対象

3 取り組み結果、課題

・目標を達成しているため、今後も計画に沿って事業を実施する。

4 今後の方向性

・計画に基づく着実な道路改良整備と橋梁修繕を実施する必要がある。

施策分野	3 生活基盤の整備・移住定住に係る施策	基本施策名	(2)住宅対策の推進
------	----------------------------	-------	------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
 83%	 38%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)宅地開発、公営住宅施策

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	池田町土地利用調整基本計画(第2期計画・R3.10から10年間)の策定	①②③	審議会3回	町づくり推進係
2	土地開発公社の分譲地完売(千本木台)	①	1区画分譲	建設管理係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考	
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度				
1 定住促進住宅などの新規分譲区画数(民間開発も含む)	6区画	延16区画	延16区画	延24区画	延32区画	延べ40区画			40%	有	—	開発事業完了数による	町づくり推進係建設管理係	【戦略】
2 一般個人住宅の建築件数	44件	延80件	延60件	延90件	延120件	延べ150件			53%	有	—	令和2年度土地利用調整協議完了数による	町づくり推進係	5年間合計 土地利用調整協議 ※1完了数
3 集合住宅の建築件数	0世帯分	延10世帯分	延20世帯分	延30世帯分	延40世帯分	延べ50世帯分			20%	無	—	開発事業完了数による	町づくり推進係	5年間合計

3 取り組み結果、課題

・住宅建築は目標を20件上回り、新規分譲地は16区画と目標を達成している。しかし、集合住宅は1棟(10世帯分)と伸び悩み目標達成が困難な見込みである。
 ・住宅リフォーム促進事業補助金で64件9,942,000円を補助した。
 ・令和3年10月から始まる土地利用計画(第2期)で、利便性が高く、かつ田園風景が保全できる場所を選定し開発可能なエリアを拡大、新規分譲地や集合住宅の開発を促進している。

4 今後の方向性

令和3年10月から始まる土地利用調整基本計画(第2期)では第1期計画と比べて宅地開発可能地域が6.2ha増加した。池田町の豊かな自然環境を維持するため宅地開発が可能地域なエリアを限定し、引き続き自然と調和した住宅や集合住宅の開発を促していきたい。

施策分野	3 生活基盤の整備・移住定住に係る施策	基本施策名	(3)上下水道の整備
------	----------------------------	-------	------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
98%	98%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)上水道の整備

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 安定した水道水供給を維持するため、定期的機器点検及び漏水箇所の補修	①②③④	年間	水道係

(2)下水道の整備

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 包括的民間委託の継続	③	年間	水道係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値		目標値					R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無			
1 上水道有収率	86.1%	87.1%	90.0%	90.0%	90.0%	90%	97%	97%	無	-	個人宅内漏水の発見件数が多く、各自にて修理したこと及び、本管の漏水事故が減少したことにより有収率が向上した。	水道係	-
2 水洗化率	92.4%	93.1%	91.7%	91.8%	91.9%	92%	100%	100%	無	-	行政人口の減少に対して水洗化済み世帯の人口減少が少ないため、目標達成となった。	水道係	-

3 取り組み結果、課題

上水道・下水道共に計画的な施設更新を行う必要がある。
特に上水道に関しては、順次更新を進めているが今後20年以内に全水道管の3割が規定の耐用年数を迎える。
水洗化率は、浄化槽設置者及び未加入者数を考慮すると実質96%を超え、残りの4%弱は経済的理由から下水道への接続は難しいことから、今後横ばいに推移すると思われる。

4 今後の方向性

計画的な施設更新を行うとともに、引き続き漏水箇所の特定と修繕に努める必要がある。

施策分野	3 生活基盤の整備・移住定住に係る施策	基本施策名	(4)交通の整備
------	----------------------------	-------	-----------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
100%	100%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)交通安全対策

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 交通指導員、交通安全支部長、協力事業所による交通安全指導の継続実施	②	随時	環境整美係
2 交通安全施設及び路面標示舗装の整備	③	随時	建設管理係・環境整美係
3 通学路におけるブロック塀の設置状況調査実施による通学路上の危険箇所の把握及びブロック塀等除却補助の継続実施	③	点検1回	学校保育係・建設管理係
4 交通災害共済掛金の全町民分負担	④	加入実績延べ10,099人	環境整美係
5 運転免許自主返納支援事業の継続実施(町営バス回数券13,200円分支給)	⑤	随時	環境整美係

(2)町営バス運行関係

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 JRの運行に合わせた運行時刻改正の実施	①	1回	環境整美係
2 町内巡回線の利便性向上に向けた検討	①	随時	環境整美係
3 高齢者、障害者手帳等所持者への割引回数券、定期券の発行	②	随時	環境整美係

(3)交通弱者対策

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 福祉輸送サービスの実施	①	54回	福祉係
2 送迎付きの買い物支援の訪問型サービスD型事業を開始	①	実人数3名延べ23回	地域包括支援センター
3 町内巡回線の空白地の把握、対応策の検討	①	随時	環境整美係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 人身事故の発生件数	17件	11件	20件以下	20件以下	20件以下	20件以下	100%	100%	無	—	長野県警察本部交通部発表、令和2年1月1日から令和2年12月31日までの間	環境整美係	5年間平均

3 取り組み結果、課題

・交通安全対策では、道路交通に支障をきたす場所に安全施設設置や補修を施した(道路反射鏡1基、ガードレール33m、ガードポスト8基、区画線設置323m)。また、池田小学校と高瀬中学校を含むエリアをゾーン30区域に指定するとともに、安曇養護学校東の町道207号線にグリーンベルトを設置して、通学する児童生徒の交通安全の向上を図った。
 ・運転免許の自主返納者は34名と前年の55名を下回った。
 ・町営バスの運行では、利便性向上のために鉄道運行に合わせた時刻改正を行った。また、町内巡回線の利用方法、回数券の販売場所を広報いけだに掲載し利用促進を図った。
 ・交通弱者対策では、町営バス巡回線の空白地を把握し、池田町支え合い助け合い協議体で協議検討した結果、送迎付きの買い物支援として訪問型サービスD型事業が、池田町社会福祉協議会で令和2年7月から開始となった。

4 今後の方向性

・通学路上の直接児童生徒に影響が及ぶ倒壊の危険のあるブロック塀について、除却補助金制度の活用を(所管部署との連携を含め)積極的に努めていく。
 ・令和2年度末には死亡事故ゼロ2,380日となり、人身事故の件数も減少傾向のため、町民の交通安全意識の高さを継続するよう施策を進め、合わせて交通安全施設等の整備を継続して順次行っていく。
 ・町営バスの利便性の向上のため、引き続き運行改善を行い、特に町内巡回線の利用方法の啓発を関係部局と協力して続けていく。
 ・訪問型サービスD型事業については、高齢者数が増加する中、利用者数の増も見込まれる。要介護とならないよう自立を支援するためのサービスとして捉え、引き続き支援していく。

施策分野	3 生活基盤の整備・移住定住に係る施策	基本施策名	(5) 移住定住の促進
------	----------------------------	-------	-------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
 81%	 74%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)移住定住への支援、空き家の利活用

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考	主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	移住情報の積極的な発信(町配信メールや町ホームページ、地域おこし協力隊facebookなど)	①④⑤	月1回程度	移住定住 促進係	3	移住準備住宅活用(2年度末時点で1世帯4名入居中)	③	2棟	移住定住 促進係
2	空き家などの利活用促進(空き家バンクの活性化)	②	登録25件 契約21件	移住定住 促進係	4	移住推進協議会の開催	⑥	協議会1回 部会3回	移住定住 促進係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 移住希望者・町に関心がある人向けの情報発信ツールの作成	年5件	年6件	年3件	年3件	年4件	5件	100%	100%	無	-	①池田町配信メール ②県等の外部機関のポータルサイトでの情報発信(県、JOIN) ③町ホームページ(移住定住通信等) ④地域おこし協力隊のfacebook ⑤町のtwitter ⑥北アルプス連携自立圏による情報発信(山岳雑誌"山と渓谷"に記事掲載など)	移住定住 促進係	5年間合計 【戦略】
2 空き家などの利活用に関する相談件数	18件	13件	年20件以上	年20件以上	年20件以上	年20件以上	65%	65%	無	-	役場窓口での相談件数13件	移住定住 促進係	【戦略】
3 空き家などの改修件数	4件	11件	年4件以上	年6件以上	年8件以上	年10件以上	100%	100%	有	-	空き家バンク制度を利用して購入した物件の改修件数(環境整備事業補助金の改修事業件数)	移住定住 促進係	【戦略】
4 移住準備住宅整備	2件	2件	2件	3件	4件	5件	100%	40%	無	-	新規整備は行っていない	移住定住 促進係	町全体整備 数【戦略】
5 定住補助助成頻度	51件	53件	年8件以上	年8件以上	年8件以上	年8件以上	100%	100%	有	-	定住促進補助金交付実績(新築36件、中古17件)	移住定住 促進係	【戦略】
6 県外からの転職を伴う移住希望者からの就労に関する相談件数	74件	79件	年20件以上	年20件以上	年20件以上	年20件以上	100%	100%	無	-	起業や就職を検討しているとの内容を含む相談件数(役場作成の相談カードや各種相談での主催者からの情報を元に件数を算出、役場窓口、電話、メール、オンラインイベントなどを対象として算出)	移住定住 促進係	【戦略】
7 行政に係る移住実績	年32件(78人)	年38件(88人)	年21件	年22件	年23件	24件	100%	100%	有	-	移住相談や補助金制度などを利用しての移住者数(当係に関連した移住者数)	移住定住 促進係	-
8 住み替え円滑化のしくみに基づく住み替え事例	0件	0件	1件以上	1件以上	1件以上	1件以上	0%	0%	無	-	住み替え円滑化による実績なし	移住定住 促進係	5年間合計 【戦略】
9 地区別の人口増減率がマイナス10%以下の地区数	-	14地区	10地区	-	-	10地区	60%	60%	無	-	令和2年度国勢調査の速報値を元に算出	移住定住 促進係	国勢調査結果【戦略】

3 取り組み結果、課題

・空き家バンクの運営に関しては、開始以降令和2年度末まで登録73件に対し契約52件となった(契約率約71%)。固定資産税の納税通知書発送の際にチラシを同封し、空き家バンク制度を周知していく。
 ・発信ツールの活用、セミナー参加など当町のPRを地道に続けてきたことや補助金による移住が進み、移住者数実績が目標を達成した。
 ・移住してきた方を対象としたイベント"池田町移住者の集い"を開催した。このイベント時のアンケートの回答結果を受け、令和3年度から移住者の集うイベントを例月開催したい。
 ・新型コロナウイルスの影響により、移住案内ツアーは8回の計画に対し2回のみ開催となった。また、各セミナーは全部がオンライン方式に変更となった。
 ・北アルプス連携自立圏事業で、令和2年度は新規事業として、山岳雑誌"山と渓谷"に記事を掲載し、管内のPRを行った。自立圏で相談窓口を設置し相談者に応じた。
 ・補助金の削減により、空き家利活用の停滞が心配される。

4 今後の方向性

・移住定住に係る補助金が減額となったため、補助金に頼らない事業で移住定住を促進する。
 ・情報発信ツールの活用やセミナー、ツアー等を通じ、引き続き当町のPRを行う。(大賞を受賞したふるさとCMの活用も実施)
 ・移住希望者の受け皿となるよう空き家バンク業務を強化していく(特に発掘に重きを置き、多くの物件を紹介できるようにしたい)。
 ・移住協力店制度を開始し、行政窓口だけでなく町内の協力店でも移住相談ができる環境を整備していく。
 ・移住者の集う機会を定期的に設け、フォローしていく。(移住者カフェの開催)
 ・オンラインツールを使っているPR(移住相談やセミナーなど)が主になっているので、遅れることなく対応していく。
 ・町の予算削減の一環で、令和3年度の移住定住補助金額を削減し予算計上をしたが、町の削減案に対し議会による修正議決がなされ、次年度の補助金は大幅な減額となった。(議会側と協議し、令和3年度においては経過措置を設定した)
 ・危険空家業務は、撤去のみの方向性でなく利活用も含め推進していく。併せて以前実施した空家調査時の台帳の更新を進めていく。

施策分野	4 産業に係る施策	基本施策名	(1) 農業の振興・森林の保全活用
------	-----------	-------	-------------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
 67%	 31%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1) 農業担い手確保と経営安定化

主な取り組み	対応する主要施策番号	回数等	担当係・備考
1 実質化された人農地プランの策定(R3年3月)	①⑦	検討会1回	農政係
2 中間管理事業等による農地の集積・集約化の推進	①⑦	新規設定64.1ha	農政係
3 産地生産基盤パワーアップ事業により、作業効率、生産効率向上のため高性能機械導入、農業設備整備等の支援を行った	②⑤⑦	2件	農政係
4 強い農業・担い手づくり総合支援事業により、作業効率、生産性向上のための高性能機械導入の支援を行った	②⑤⑦	2件	農政係
5 米の生産目安値に沿った適正生産推進と転作作物への支援を行った	③④⑤	転作率30.16%	農政係
6 サル被害を軽減するため、GPS装置を導入(首輪1基)し、サルの行動調査を実施し、地元説明会を実施した(6自治会)	⑥	説明会1回	農政係
7 有害鳥獣侵入防止のための柵を設置した	⑥	新規設置L=500m	農政係
8 新規就農希望者の相談と新規就農者の就農直後の所得を確保し就農定着を図るため給付金を給付した	⑦	給付金支給 5者	農政係

(2) 森林資源の維持と活用

主な取り組み	対応する主要施策番号	回数等	担当係・備考
1 各地区協議会における森林整備事業の実施及び事業導入の検討	①	通年	耕地林務係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 県営事業導入によるほ場整備面積	0ha	延26ha(18ha)	延13.5ha(10ha)	延39.5ha(28ha)	延56ha(40ha)	79ha(うち農地61ha)	100%	33%	無	-	心土形成工(ブル代掻き)追加等に伴う工程見直しにより、全工区翌年度繰越による施工となったため、元年度完了予定であった面積が2年度完了となった。	耕地林務係	-
2 新規統猟者数	0人	延0人	延2人	延3人	延4人	5人	0%	0%	無	-		農政係	-
3 10~40代の新規就農者数	4人	延6人	延6人	延7人	延8人	10人	100%	60%	無	-	園芸作物を中心に行う者と、水稲と園芸作物の複合経営を行う者の2者が新規に就農した	農政係	5年間合計【戦略】

3 取り組み結果、課題

・実質化された人・農地プランの策定により、離農者への対応のため、誰が継続して耕作を担っていくのかを決めるためのルールができた。(R2.3策定)このルールに基づき、農地の集積・集約をすると共に、各種補助金を活用し、担い手の経営強化を行った。
 ・サル被害は農作物だけでなく、民家のテレビアンテナ、雨樋等におよび深刻な状況である。大型捕獲檻によるサル捕獲の前段調査として、サルにGPS首輪を装着し行動の調査を行った。
 ・森林づくり県民税を活用した事業導入により森林整備を進める事ができた。

4 今後の方向性

・米の需要が減少しており、米+αの複合化経営による高収益作物への転換が求められている。担い手の経営強化、作業効率、作物の販路等を考慮した高収益作物の選定や、移行に伴う機械や施設整備に国等の補助金を活用し経営安定を目指す。
 ・有害鳥獣から農作物被害を防止するため、個体数調整による捕獲の強化、広域侵入防止柵の継続した適正管理の仕組み構築による機能維持、緩衝帯整備等による有害鳥獣の生息しにくい環境整備を各地区協議会と連携して行いたい。
 ・各地区協議会における国・県補助事業を導入した森林整備を進めるとともに、新たな森林管理制度による森林環境譲与税を活用した森林整備を推進したい。

令和2年度 基本施策評価シート 4-2

施策分野	4 産業に係る施策	基本施策名	(2) 商業の振興
------	-----------	-------	-----------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
100%	100%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1) 商業振興・起業への支援(商工会、他機関と連携しての取り組み)

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 経営改善や地域商業力強化事業の実施(池田町商工会委託)	①	通年	商工係
2 助成事業 創業支援 7件、商業振興対策 5件	②	12件	商工係
3 既存店舗活性化に関する事業の実施(池田町商工会委託)	③	通年	商工係
4 指定管理によるシェアベースにぎわいの運営 にぎわい事業の実施(委託事業)	④	通年	商工係
5 創業に関する相談受付(池田町商工会委託)	⑤	通年	商工係
6 創業塾の開催	⑥	中止	商工係
7 中小企業小規模事業者振興円卓会議小委員会の開催(農業)	⑦	1回	商工係
8 安曇野市・松川村と連携し、地域の酒蔵の日本酒輸出プロモーションの支援(オンライン実施)	①	2回	農政係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 年間商品販売額	101億円	-	-	98億円	-	100億円	評価なし	評価なし	無	-	平成28年度経済センサスによる数値調査は5年毎に実施(次回令和3年度)	商工係	経済センサス活動調査【包括戦略】
2 地元滞留率	20.3%	-	-	11%	-	12%	評価なし	評価なし	無	-	平成30年度長野県商圏調査による数値(全品目平均値)調査は3年毎に実施(次回令和3年度)	商工係	全品目の平均値
3 町内での起業件数	4件	延13件	延3件	延3件	延4件	5件	100%	100%	無	-	町内創業者(池田町商工会加入者数)	商工係	5年間合計【戦略】
4 若者・子育て世代の「まちなかのにぎわい」に対する満足度	-	-	-	-	-	10%	評価なし	評価なし	無	-	当該満足度は2015年の「人口ビジョン・総合戦略策定アンケート」を基にしている。次回は令和5年度に調査予定。	商工係	アンケート結果【戦略】

3 取り組み結果、課題

・創業件数は目標値以上となり、創業・商業振興対策支援補助金の申請も予想より多く提出されるなど好調である。
 ・シェアベースにぎわいはランチやカフェの実施により利用者は増えているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、シェアオフィス利用者が減少し、利用料収入も減少した。今後は収益事業を拡大したい。
 ・町内での空き店舗は多く見受けられるが、回転は進んでいない。

4 今後の方向性

・創業・商業振興対策支援補助金制度により、創業や、事業の継続を図る事業者は増えており、今後も周知に努めたい。
 ・シェアベースにぎわいを中心とした、町内賑わいイベントの開催や、晴れるや市等による農産物や加工品、町内酒蔵やワイナリーが醸造した酒類の展示販売等を進め、新規起業も気軽に商品を販売し手ごたえを得られるような環境づくりを行いたい。また、シェアベースにぎわいは利益に応じた使用料を町に納入してもらうこととした。
 ・新型コロナウイルス感染拡大の関係で、円卓会議は農業小委員会の開催(1回)と、工業小委員会委員長からの意見聞き取りに留まった。今後更に小委員会の開催を重ね、全体会議開催の準備を進めたい。

令和2年度 基本施策評価シート 4-3

施策分野	4 産業に係る施策	基本施策名	(3) 工業の振興
------	-----------	-------	-----------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
92%	67%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1) 企業誘致、町内企業支援

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 工場を新設、増設、創業する際の補助交付による支援	②	1	商工係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値		目標値					R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無			
1 製造品出荷額など(H25工業統計調査)	157億円	142億円	185億円	190億円	195億円	190億円(計画期間の平均値)	77%	75%	無	—	令和元年度工業統計調査速報値	商工係	工業統計調査【包括戦略】
2 新規の企業誘致件数	0件	延1件	延1件	延1件	延1件	1件以上	100%	100%	無	—	民間ワイナリー1件	商工係	5年間合計【戦略】
3 工場誘致等に関する条例に基づく助成および優遇措置の適用事業所数	0事業所	延1事業所	延1事業所	延2事業所	延3事業所	4事業所	100%	25%	無	—	民間ワイナリー1件	商工係	5年間の内適用となった事業所数【戦略】

3 取り組み結果、課題

・新設された民間ワイナリーに池田町工場誘致等に関する条例の規定に基づく助成金を交付した。
 その他、町内へ進出希望事業所との調整を行ったが、企業側が断念したため誘致は実現しなかった。
 ・新型コロナウイルス感染症による出荷額の落ち込みがあったが、事業所への給付金を支給するなど対応を行った。

4 今後の方向性

・今後、新型コロナウイルス感染状況と、国内・県内の経済状況を注視し、町内工業力の活性化を検討したい。
 ・工場進出希望企業への情報提供を積極的に進めていきたい。

令和2年度 基本施策評価シート 4-4

施策分野	4 産業に係る施策	基本施策名	(4) 観光の振興
------	-----------	-------	-----------

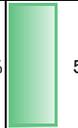
R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
 63%	 55%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1) 観光資源を活かした事業展開

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 池田町の魅力・タイムリーな情報を積極的に発信し、観光誘客数・観光消費額の向上	①	随時	観光係
2 池田町の主要な観光資源の有効活用(紅葉時期のテレビPR)	②③④	1回	観光係
3 宿泊能力の強化による観光消費額の増進	⑤	1施設	観光係
4 官民連携による観光推進	⑥⑦	3行事	観光係 観光協会

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 観光地利用者延数	40万人	26.2万人	44万人	46万人	48万人	50万人	 60%	 52%	無	-	新型コロナウイルス感染拡大の影響	観光係	観光地利用者統計調査(長野県)【包括戦略】
2 観光協会への問い合わせ件数	2,910件	1,200件	3,000件	3,000件	3,000件	3,000件	 40%	 40%	無	-	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、定着しつつあった旅行会社とのツアー造成商品が中止となった。	観光係	【戦略】
3 観光消費額単価	585円	625円	600円	650円	700円	800円	 100%	 78%	無	-	国によるGoto事業への加盟を普及し、その効果により飲食客は確保され、景勝地への立寄りみの観光客が減少したことにより1人当たりの単価は増加した。	観光係	観光地利用者統計調査(長野県)【戦略】
4 池田町立美術館・あづみ野池田クラフトパークの年間利用者数	54,918人	15,446人	52,400人	53,600人	54,800人	56,000人	 29%	 28%	無	-	新型コロナウイルス感染拡大の影響	クラフトパーク係	【戦略】
5 農家民宿等の新規開設軒数	4軒	延5軒	延1軒	延2軒	延3軒	3軒	 100%	 100%	無	-	移住者による新規開設1軒	観光係	5年間合計【戦略】
6 観光地利用者の延宿泊客数	2,700人	2,800人	2,600人	2,700人	2,800人	3,000人	 100%	 93%	無	-	国によるGoto事業への加盟を普及し、その効果により宿泊客は確保された。	観光係	5年間合計【戦略】
7 町内観光施設などにおけるWi-Fiの設置箇所数	13箇所	13箇所	13箇所	13箇所	13箇所	10カ所	 100%	 100%	無	-		総務係・観光係	【戦略】
8 年間訪日外国人旅行者数	600人	27人	700人	800人	900人	1,000人	 4%	 3%	無	-	新型コロナウイルス感染拡大の影響	観光係	-
9 訪日外国人旅行者年間観光消費額	126.4万円	60万円	175万円	200万円	225万円	270万円	 34%	 22%	無	-	新型コロナウイルス感染拡大の影響	観光係	-
10 民間及び町との連携によるイベント開催数	12行事	3行事	12行事	12行事	13行事	14行事(内スポーツ関係4行事)	 25%	 21%	無	-	新型コロナウイルス感染拡大の影響	観光係	-
11 ツアーバス対応可能な民間施設	6施設	6施設	6施設	7施設	8施設	9施設	 100%	 67%	無	-		観光係	-

3 取り組み結果、課題

・新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛など観光誘客については、秋のGoto事業実施期間中の紅葉観賞を除き、当町の観光資源を活かせる機会もなく、大きな影響を受けた。

4 今後の方向性

当面、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着くまで、現状を維持することを念頭に取り組みが、アフターコロナを見据えた観光事業も検討していきたい。

令和2年度 基本施策評価シート 4-5

施策分野	4 産業に係る施策	基本施策名	(5)6次産業化の推進
------	-----------	-------	-------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
96%	42%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)農業を基盤とした農産物の育成・創出

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	ハーバルヘルスケアトレーナーによる任意団体「みちくさ」によるプログラムを実施した	①	13	花とハーブ の里推進係
2	会染西部地区ほ場整備事業の園芸団地でのワイン用ブドウ栽培を行う耕作者を確保した	②	1者	農政係 耕地林務 係
3	地元団体や地域おこし協力隊員を中心とした、地元農産物による特産品の開発推進	③	通年	商工係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値		目標値				R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 ハーブセンターの利用者延数	19.4万人	16.9万人	20万人	22万人	24万人	25万人	85%	67%	無	—	新型コロナウイルス感染拡大の影響により10月期を除き、各月利用者減少	観光係	【戦略】
2 ハーブの葉香に関するガイドブックなど周知資料の作成	0件	0件	0件	0件	0件	1件	評価なし	0%	無	—	町ホームページにバナーを追加し、花とハーブの里へのアクセスを改良した。花とハーブの里FBを開設し9月10日～3月31日までの間、延363人の方が閲覧した。	花とハーブ の里推進 係	5年間合計 【戦略】
3 ワイン用ぶどうの栽培面積	26ha	延27.6ha	延26ha	延26ha	延31.2ha	41.4ha	100%	67%	無	—	鶴山1工区において栽培が開始された。ほ場の住宅近接箇所は緩衝帯となる作物栽培としたため、ほ場面積に対し栽培面積が少ない状況となった。	耕地林務 係	5年間合計 【戦略】
4 民間ワイナリー建設数	1カ所	延1カ所	延1カ所	延1カ所	延1カ所	2カ所	100%	50%	無	—	昨年度、民間企業が建設したワイナリーがオープンし、R2産のブドウから醸造が始まった。	農政係	5年間合計
5 特産品の新規商品化数	1品目	延1品目	延1品目	延2品目	延3品目	4品目	100%	25%	無	—	研究を進めていたが、製品化出来た品目はなし	商工係	5年間合計 【戦略】

3 取り組み結果、課題

・八寿恵荘とタイアップし、宿泊者向けにハーバルヘルスサービス提供の仕組みを構築した。その他、町民向けのサービスを始めたが、活動の場の拡大と利用者の送迎が課題となる。
 ・令和2年度にオープンした民間ワイナリーで、初めて原材料の栽培から加工まで全て“made in Ikeda”のワインが醸造された。今後は、ワインの販路が課題となるが、様々な手法で池田町ワインをPRし、ブランド力を高め、町民にも池田町ワインを知ってもらい、地元で愛される特産品として育てていく必要がある。
 ・ワイン以外では、特産品開発研究を進めていたが、2年度末時点で製品化に至ったものは無かった。

4 今後の方向性

・ハーバルヘルスは、関係課等と連携し、観光客だけでなく町民向けのサービスを行ってきたい。
 ・ワイン用ブドウの圃場は、東山麓から西部の水田地帯へ広がり、若い新規就農者もあり、ワイナリー建設や農家民泊などの将来構想を持っている。農場の作業体験やワイナリー見学等、新たな誘客のコンテンツとして観光との連携が期待される。現在工事中の会染西部地区でワイン用ブドウほ場整備(園芸エリア)が一段落することから、今後、大規模な栽培面積の拡大は厳しい状況であるが、日本ワインの需要動向を注視しながら進めていく必要がある。
 ・ワインをモデル事業として、ハーブを中心とした調味料の製品化に向けて、材料の調達や研究を進めている。

施策分野	4 産業に係る施策	基本施策名	(6)雇用と労働
------	-----------	-------	----------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
 61%	 44%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)人材育成、事業継承

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 小学生を対象に町民講師による「土曜ふるさとクラブ」を実施することにより地域への愛着を持たせた(自然体験、美術、町探検等 計11種目)	①	小学生87名 保護者41名 参加	学校保育係
2 事業継続支援等に関する事業(池田町商工会委託)	②	通年	商工係
3 池工版デュアルシステム事業の実施(池田工業高校委託)	③④	通年	商工係
4 県の元気づくり支援金を活用し、学校・生徒・企業間の調整及び地域住民や地元各学校、県内企業との共同活動における連携業務を行うコーディネーター1名を池田工業高校に配置した。	④⑤	通年	商工係
5 UIJターン支援事業の実施	⑥	申請者1件	商工係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値						目標値						
							R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 将来希望する就業先が自宅から通える範囲内にあるという池田町在住の高校生の比率	-	-	-	-	-	30%	評価なし	評価なし	無	-	当該データは2015年の「人口ビジョン・総合戦略策定アンケート」を基にしている。次回は令和5年度に調査予定。	商工係	高校生アンケート結果【戦略】
2 町内就業者人数	53人	延88人	延105人	延160人	延217人	累計275人 (年平均55人)	 84%	 32%	無	-	町内新入社員35名	商工係	【戦略】
3 各種研修の開催頻度	年6講座	年0講座	年6講座	年6講座	年6講座	年6講座	0%	0%	無	-	コロナウイルス感染拡大により開催中止	商工係	【戦略】
4 UIJターン就業・創業移住支援事業補助金交付	年0件	年1件	年1件	年1件	年1件	年1件	 100%	 100%	無	-	申請者1件	商工係	-

3 取り組み結果、課題

・商工会との協力により、地元産業支援を実施。新型コロナ拡大等の影響もあり、町内企業への就職率は低下している。
 ・ふるさと学習支援や池工版デュアルシステム事業により、地域の人材づくりや将来的な地元への定着を目指している。
 ・町内各学校と地域企業の連携強化による、地元企業への就職率向上のため、池田工業高校へコーディネーターを配置したが、新型コロナ拡大の影響により、予定していた活動が出来なかった。
 ・UIJターンは長野県ソーシャルビジネス創業支援対象者からの申請1件であった。

4 今後の方向性

・商工会と連携し、地元企業の産業力支援や、対外的なPRを実施していく。
 ・地域連携コーディネーターの活動を拡大し推進していく。
 ・テレワークが可能な施設の検討を進める(シェアベースにぎわい等)
 ・UIJターン事業補助金制度が改正されたことにより補助金交付対象要件が緩和されたため、制度利用の対外的PRを更に進めたい。

令和2年度 基本施策評価シート 5-1

施策分野	5 福祉と人権に係る施策	基本施策名	(1)住民福祉の向上
------	--------------	-------	------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
100%	93%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)地域福祉の充実・共通 施策

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 地区公民館単位での「のびのびゴム体操」の普及	①	3箇所増 23箇所	地域包括支 援センター
2 在宅介護者給付金申請での健診結果提出介護者の重症化予防を図る	②	28件	地域包括支 援センター
3 地区健康相談、保健指導員主催等の健康教室で血圧測定やミニ学習会を実施。新型コロナウイルス感染症予防のため実施回数は減少した。	②	20回 延370人	健康増進係
4 成年後見無料相談会の開催。成年後見制度の周知と個別支援。	③	12回	地域包括支 援センター
5 成年後見制度利用支援事業の助成により、被後見人の経済的負担の軽減を図る	③	1名	地域包括支 援センター
6 成年後見制度が必要な人への支援。首長申立。	③	3件	地域包括支 援センター
7 「福祉の総合相談窓口」として、多世代相談センターを設置した。	④⑤⑥	1ヶ所	多世代相談 センター
8 やすらぎの郷館内(トイレ、カウンター等)に自殺予防の相談窓口パンフレットを設置した。	⑥	10ヶ所	多世代相談 センター

(2)高齢者福祉の充実

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 各種体操教室(介護予防事業)年間:8コース実施。年間2回の体力測定や血圧測定に合わせ、ミニ学習会などを実施した。	①	321回 延5,024人	健康増進 係
2 生活支援体制整備事業の協議体検討結果により、池田町社会福祉協議会での介護予防・日常生活支援総合事業訪問型D事業サービスの開始	①	3名 延23回	地域包括支 援センター
3 介護予防・日常生活支援総合事業C型サービス実施により、介護予防プログラムを実施。精神面へのフォローによるカウンセリング事業もR2.9から実施。	①	16名延144 回/2名延 22回	地域包括支 援センター
4 地域包括ケアシステムの学習会開催。	①	2回	地域包括支 援センター
5 地域包括ネットワーク体制づくりへの取り組みとして、地域での集いの場が出来た。家族介護者会も開催。	①	4例	地域包括支 援センター
6 在宅医療介護連携支援センターで、救急医療情報キットを作成し周知した。	①	1回	地域包括支 援センター
7 認知症啓発事業として、映画上映会の開催。	①	2回	地域包括支 援センター
8 はつらつ健康スタンプで健康づくりの取組意欲になるよう実施	①	227名	健康増進係

(3)障害者福祉の充実

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 多世代相談センターでの相談に基づき、障害福祉サービスの支給決定を行った。	①	666件	福祉係
2 「福祉の総合相談窓口」として、多世代相談センターを設置した。	④	1ヶ所	多世代相談 センター

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 認知症サポーター数	946人	1,103人	1,100人	1,250人	1,400人	1,500人	100%	74%	無	—	認知症サポーター養成講座の開催実績値(8回 157名)	地域包括支 援センター	100人/年
2 高齢者介護・福祉サービス事業新規開業件数	0件	延1件	延1件	延1件	延1件	1件	100%	100%	無	—	介護予防・日常生活支援総合事業 訪問D型事業、R2.7~池田町社会福祉協議会で開始	地域包括支 援センター	5年間合計 【戦略】
3 「まいさぼ」のサービス利用者数	年13件	年24件	年15件以上	年15件以上	年15件以上	年15件以上	100%	100%	無	—	新型コロナウイルス感染拡大を受けて行った総合支援資金の貸付のため、利用者数が増加している。 その他、利用者数生活困窮、仕事探し、住まい探し等相談があった場合は、速やかに繋げた。	多世代相 談センター	【戦略】
4 地域生活への移行者数	2件	延12件	延1件	延1件	延1件	1件	100%	100%	無	—	これまで地域生活移行者の定義が「1年以上の長期入院者」等であったが、厚生労働省の対象者拡大により入院期間等を考慮しなくなったため移行者数の増加となった。 精神科入院中の親族支援やサービス調整、また、退院カンファレンスへの参加や退院後の定期的な訪問等を行った。	多世代相 談センター	5年間合計

3 取り組み結果、課題

・認知症サポーター養成講座を目標どおり開催でき、サポーター数は1,000人を超えることができた。受講者の年齢層が比較的高齢層であったため、幅広い年代層のサポーター養成も必要。
・高齢者の交通面での課題解決のため、令和2年7月に訪問型Dサービスが開始した。利用者数は思ったほど伸びなかったが、介護予防、自立支援の視点から必要な事業と捉えている。
・多世代相談センターを設置し、総合的な相談に対応できるような体制になった。より一層専門的な相談対応できるようにスタッフ研修の実施が課題である。

4 今後の方向性

・認知症サポーター養成講座は、小中学生向けの講座を開催し、子どもの頃から知識としてもってもらえるよう取り組んでいく。
・介護予防、自立支援の視点から地域の集いの場を、生活支援体制整備事業である「支え合い・助け合いを広げる協議体」で検討、創出できるよう支援していく。
・多世代相談センターは、より専門的な相談に載るためのスタッフ研修実施や相談業務ではニーズを把握し、アセスメント、課題、支援方針を作成し、困りごとが終結できる取組をしていく。

令和2年度 基本施策評価シート 5-2

施策分野	5 福祉と人権に係る施策	基本施策名	(2) 保健予防・医療の充実
------	--------------	-------	----------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
87%	83%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)健康づくりの取り組み

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 乳幼児健診・育児学習会・離乳食教室時に各月齢に合わせて、子どもノート(資料集)を見ながら生活リズムや運動、食について集団学習を実施。	①②	59回 延べ454人	健康増進係 多世代相談センター
2 小児生活習慣病予防健診後の健康相談を各学校の懇談会に合わせて実施。来所されなかった家庭(24人)には健診結果の見方やアドバイスを添えて担任より渡していた。	①②	7日間 80人来所	健康増進係 多世代相談センター
3 健康長寿推進協議会の開催。健康づくりや食育に関する施策を検討する場として、10月に協議会を設置。	②	3回	健康増進係
4 健康長寿を目指すため、75～76歳の方にも長寿健診のご案内を送付。健診受診率:R元年度17.9% 令和2年度21.6%になった	①②		健康増進係

(2)地域医療の充実

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 池田町医師連絡懇談会の開催	①	1回	健康増進係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 健康をテーマにした各種講習・講座の新規立ち上げ件数	1件	延1件	延1件	延1件	延1件	1件	100%	100%	無	—	健診結果より、肥満者(BMI25以上)の割合が増加していることから、対象者を男性に限定して健康教室を開催したが、参加者は延べ5人であった。	健康増進係	5年間合計【戦略】
2 ヤング健診受診率(国民健康保険加入の20歳～39歳)	20.4%	24.2%	25%	26%	28%	30%	97%	81%	無	—	20～39歳の国保被保険者全員に健診の受診票等を郵送し、256人中62人受診。	健康増進係	—
3 特定健診受診率	66.7%	68.4%	66.5%	67%	67.5%	68%	100%	100%	無	—	健診対象者1,811人中1,239人受診。(5月20日現在)令和2年度の受診率は令和3年10月末に確定のため概算値であるが、目標値を達成している。	健康増進係	—
4 特定健診による重症化予防対象者の割合	33.6%	33.5%	27%	26%	25%	25%	76%	66%	無	—	令和元年と比較して、糖尿病では2～3か月の平均的な血糖値をみるHbA1c6.5%以上の割合が8.6%から8.0%に減少しているが、メタボリックシンドローム該当者(腹囲のほか高血圧などの動脈硬化のリスクが2つ以上ある人)の割合が19.1%から20.2%になっているなど、全体としては横ばいであった。	健康増進係	—
5 80万円以上のレセプトに占める循環器疾患の割合	14.5%	19.9%	33%	32%	31%	30%	100%	100%	無	—	心疾患や脳血管疾患等により毎月80万円以上の医療費が継続的にかかったことで、令和元年度より割合が高くなっているが、計画策定時の2017年34.09%より循環器疾患に占める割合は下がっている。	健康増進係	—
6 2号被保険者要介護認定率	0.2%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.20%	50%	50%	無	—	KDBシステムより2号認定者数8人で、昨年度より2名減ではあるが、認定率は増加している。人口が同規模の市町村は0.4%、県は0.3%で、県並みであった。	健康増進係	—
7 主食・主菜・副菜を組み合わせ合わせた食事(朝食)をほぼ毎日食べている人の割合(16歳～29歳)	—	—	—	55%	—	—	評価なし	評価なし	無	—	アンケート調査は令和3年度実施のため実績なし。乳幼児健診では、子どもの成長に必要な食について学習する中で保護者へも啓発している。	健康増進係	アンケート結果

3 取り組み結果、課題

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区での健康教室や健康づくり・介護予防講演会が中止となったため啓発活動が十分にできなかった。
 ・特定健診が始まって以来、最高の健診受診率となった。健診の継続受診者を増やすことで予防可能な循環器疾患に係る高額医療費が下がり始めているが、健診や医療機関未受診(治療中断)者の重症化予防が課題である。
 ・健康課題である脳血管疾患の発症や重症化を予防するため、減塩推進店に減塩商品の販売等の協力を依頼した。

4 今後の方向性

・ホームページの活用などコロナ禍でもできる啓発の方法を検討する。
 ・生活習慣病の発症及び重症化を予防するため、健診受診率の向上や食事や運動などの健康相談を実施する。

令和2年度 基本施策評価シート 5-3

施策分野	5 福祉と人権に係る施策	基本施策名	(3)人権の尊重・男女共同参画の推進
------	--------------	-------	--------------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
67%	67%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)男女共同参画推進も含めた人権教育の取り組み

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 大北地域の企業人権講演会に町内事業所(4事業所)が参加	①	4事業所	生涯学習係
2 人権に関連する公民館講座の開催(7回開催、延べ159人)	②	7回	生涯学習係
3 広報記事の掲載(4回)など男女共同参画の啓発実施	②	12回	生涯学習係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値		目標値					R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無			
1 町人権教育推進協議会開催	年1回	年0回	年1回	年1回	年1回	年1回	0%	0%	無	-	コロナの影響で講演会・協議会は中止	生涯学習係	-
2 人権関連事業・講座開催数	年5回	年7回	年5回	年5回	年5回	年5回	100%	100%	有	-	関連講座実施6、男女共同講演会1	生涯学習係	-
3 池田町男女共同参画まちづくり推進協議会による推進活動	年10回	年12回	年10回	年10回	年10回	年10回	100%	100%	有	-	小中学校授業参観2、図書館での啓発図書紹介1、分館講座1、講演会1、広報記事掲載4、中学校での授業実施1、女性会議等オンラインイベント参加2	生涯学習係	-

3 取り組み結果、課題

・様々な人権課題を公民館講座等で取り入れ参加者への啓発を行った。中学校と連携し男女共同参画をテーマに授業を行った。人権に関わる課題は多岐にわたり、短期間で浸透させるのは難しいため継続し、多くの方へ伝えていくことが必要。
 ・人権擁護委員による特設人権相談所開設(2回)や園児対象人権啓発活動(R2はコロナで中止)も実施されている(住民係)。

4 今後の方向性

関連講座の開催など啓発活動を進めていく。

令和2年度 基本施策評価シート 6-1

施策分野	6 消防・防災・防犯、行政運営に係る施策	基本施策名	(1)消防・防災・防犯体制の整備
------	-----------------------------	-------	------------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
 58%	 35%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)消防設備の充実、消防力の強化

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	消火栓の取替工事	①	9基	危機管理 対策室
2	消防団備品購入等	①	—	危機管理 対策室
3	消防団員確保の広報活動(HP、広報誌の活用)	②	随時	危機管理 対策室

(2)防災設備の充実、防災力の向上

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	避難所運営訓練・中島地区自主避難計画の訓練	①④⑦⑧	2回	危機管理 対策室
2	池田町防災会議の開催、災害協定の締結(ヤフー、SouGo、東日本電信電話、大北生コン組合)	⑧	1回、4社	危機管理 対策室
3	自主避難所の開設、運営、各種計画の更新、見直し	③	多目的研 修センター	危機管理 対策室
4	災害備蓄品等の購入、整備、指定避難所への分散配置(パーテーション、エアベッド)	③	一式	危機管理 対策室
5	土地建物適正管理通知発送	⑨	3箇所	危機管理 対策室
6	木造住宅耐震診断(精密診断)	⑩	一般住宅1 件	建設管理 係
7	ブロック塀等除却事業	⑪	総延長66.9 m、5件	危機管理 対策室・建 設管理係
8	ハザードマップの更新	⑥		危機管理 対策室

(3)防犯対策の強化

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	防犯灯の更新(LED化)	②	53基	環境整美 係
2	青色防犯パトロール車による町内の見回り実施	③	122回	環境整美 係
3	防災行政無線等による特殊詐欺被害防止等の啓発活動	④	随時	環境整美 係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 町消防団員定数確保	確保	確保	確保	確保	確保	確保	100%	100%	無	—	定数230名に対し、230名の団員を確保。	危機管理 対策室	—
2 指定避難所などへの誘導標識設置	3カ所	延3カ所	延20カ所	延30カ所	延40カ所	47カ所	15%	6%	無	—	予算確保が困難	危機管理 対策室	指定緊急 避難場所、 指定避難 所の計
3 消防車両の更新(ポンプ車)	0台	0台	0台	0台	2台	2台	評価なし	0%	無	—		危機管理 対策室	—

3 取り組み結果、課題

・消防団員の定数は確保しているものの、団員の平均年齢は上がる一方である。新入団員の減少が影響し、特定の団員に負担がかかっている状況である。
 ・町民への防災意識啓発向上は自主防災会の協力のもと、訓練等を粘り強く重ねていくことが重要。
 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、町民大会、防犯組合定期大会が中止となったが、防犯組合支部長への資料配布等によるの一戸一戸運動推進や、青色防犯パトロール車でのパトロールなど防犯活動を行った。刑法犯認知件数は年々減少している。

4 今後の方向性

・消防団新入団員の確保は自治会との連携で推進していく。
 ・自主防災会会長と自治会会長を兼務している地区が多いので、それぞれ選任し、防災会長は複数年勤めていただくよう推進する。
 ・引き続き、青色防犯パトロール車によるパトロールの実施と防犯灯の整備を推進する。

施策分野	6 消防・防災・防犯、行政運営に係る施策	基本施策名	(2)開かれた町政と協働のまちづくり
------	----------------------	-------	--------------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
 75%	 72%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)自治会活動活性化

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 自治会協議会開催による情報共有、課題解決への検討。自治会活動交付金などの支援	①	4回	町づくり推進係
2 元気なまちづくり事業補助を、7自治会に交付	②	7自治会 135万円	町づくり推進係

(2)情報公開、広聴の取り組み

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 総合計画、総合戦略など重要な計画の検証結果を公表	①	1回	町づくり推進係
2 まちづくり懇談会(3回)、財政問題町民説明会(4回)の開催	②	7回	町づくり推進係
3 【新規】Twitter、Facebook、Youtubeで情報発信	①	3サイト	町づくり推進係

(3)多文化共生・ユニバーサルデザインの推進

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 公民館での多文化共生講座の開催(みのり塾)	①	1	生涯学習係
2 日本語、英語、ベトナム語記載の矢羽根看板(12カ所)の設置	③	12カ所	観光係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 町民向けメール登録数	1,600件	延1,886件	延1,350件	延1,400件	延1,450件	1,500件			無	—	登録者数は、前年と比べ286件(17.8%)増加した。 情報配信は、146回(概ね月12回)	町づくり推進係	—
2 元気なまちづくり事業実施数	12件	11件	22件	23件	24件	年間25件			有	—	まちづくり事業:住宅地の緑地整備など4団体 資材支給事業:道路や水路の整備など7自治会	町づくり推進係	—

3 取り組み結果、課題

・自治会に加入しない世帯、高齢化等で役員就任が困難になるなどの理由で脱退する世帯が増えている。また、生産年齢層では勤務や生活の形態が多様化し、自治会活動への参画が難しい世帯が多い。
・町民向けメールに関して登録数目標の件数を達成している。
・令和2年度からTwitter、Facebook、Youtubeでの情報発信を開始したが、イベント中止等の影響もあり発信も少なく、フォロワーも少ない。

4 今後の方向性

・自治会役員高齢化、加入者減など様々な課題に町民と共に取り組んでいく。
・歳出予算削減の一環で元気なまちづくり事業のうち、新規ソフト事業が少なくとも令和5年度まで凍結となるが、資材支給事業の活用を促進することで、協働のまちづくりの推進を図っていく。
・情報提供において、広報・HP・メールによる現在の周知方法をさらに検討し、いかに町民に分かりやすく伝えられるように取り組んでいく。特にSNSの活用についての検討を図っていく。

令和2年度 基本施策評価シート 6-3

施策分野	6 消防・防災・防犯、行政運営に係る施策	基本施策名	(3) 財政の健全化
------	-----------------------------	-------	------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
89%	89%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)計画的で健全な財政運営

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 令和7年度までの財政シミュレーションを作成し公表した	①	2	財政係
2 実施計画の策定により計画的な行政運営を行った(3年間のローリング)	②	1	町づくり推進係
3 行政内部事務の見直しを行い、令和3年度予算の削減を図った	③	随時	各担当係
4 新地方公会計制度導入による財政の検証を行った	③	1	財政係
5 町民や団体等の協力のもと、町単独補助金の額の見直しを行った	④	随時	各担当係

(2)自主財源の確保

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 ふるさと納税について、平成30年度から3サイト(さとふる、楽天市場、ふるさとチョイス)と契約継続中。高級ワインや米等を返礼品としている。ふるさと納税寄付額を増やすため、新たな管理会社とポータルサイトの検討を行った。	①	3サイト	町づくり推進係
2 旧豊町教職員住宅を売却した(406万円)	②	1	財政係
3 滞納整理機構による大口困難案件の徴収業務を実施した	④	随時	収納係

(3)公共施設マネジメントの推進

主な取り組み	対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1 公共施設個別施設計画を町づくり懇談会で説明	①	3	町づくり推進係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値				R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無			
1 一般・特別会計の地方債残高(臨時財政対策債を除く)	一般31億円 特別45億円 計76億円	一般32億円 特別43億円 計75億円	一般34億円以下 特別41億円以下 計75億円以下	一般34億円以下 特別37億円以下 計71億円以下	一般35億円以下 特別34億円以下 計69億円以下	一般35億円以下 特別30億円以下 計65億円以下	100%	100%	有	-	令和2年度の一般会計における地方債発行額は5億1,410万円で、元年度の発行額6億6,850万円に対し約23%減少した。	財政係	-
2 財政調整基金繰入額	2億4,910万円	0円	1億円未満	1億円未満	1億円未満	各年度1億円未満	100%	100%	有	-	大型事業等による歳入不足を補うため、当初予算では2億7,290万円繰り入れたが、地方交付税増や新型コロナウイルス感染症拡大の影響による歳出減等により、決算では繰り入れせずに済んだ。	財政係	-
3 経常収支比率	91.5%	89.4%	85%以下	85%以下	85%以下	85%以下	0%	0%	有	-	令和元年度より2.1ポイント下がったものの、制度改正により臨時職員から会計年度任用職員になった分を経常的なものに変更したことや、義務的経費に一般財源の多くが使われたことなどにより、数値は依然高い水準のままとなっている。	財政係	-
4 実質赤字比率、連結実質赤字比率	数値なし	数値なし	数値が発生しないこと	数値が発生しないこと	数値が発生しないこと	数値が発生しないこと	100%	100%	無	-	普通会計における令和2年度の実質収支は4,692万円の黒字で、実質赤字比率はない。全会計における令和2年度の実質収支の合計額は7億9,689万円の黒字で、連結実質赤字比率もない。	財政係	-
5 実質公債費比率	11.8%	12.1%	15%以下	15%以下	15%以下	15%以下	100%	100%	無	-	単年度の実質公債費比率は、平成30年度=9.92%、令和元年度=14.04%、令和2年度=12.60%	財政係	-
6 将来負担比率	数値なし	数値なし	数値が発生しないこと	数値が発生しないこと	数値が発生しないこと	数値が発生しないこと	100%	100%	無	-	令和2年度末の将来負担額よりも充当可能財源等の方が13億3,545万円多いため、将来負担比率はない。	財政係	-
7 ふるさと納税年間寄付金額	6,254万円	7,246万円	2,200万円	2,200万円	2,200万円	2,200万円	100%	100%	無	-	平成30年度にふるさと納税のポータルサイトを1から3カ所に増やしたこと等から、寄付額増加につながっている。	町づくり推進係	ふるさと納税年間寄付金額平均
8 町税収納率(現年度分)	99.14%	99.42%	98.87%	98.91%	98.95%	99%	100%	100%	無	-	滞納者への厳格な対応を行ったため	収納係	-
9 町税収納率(滞納繰越分)	32.24%	39.07%	38.50%	39.00%	39.50%	40%	100%	99%	無	-	大口滞納者の一括納付があったため	収納係	-

3 取り組み結果、課題

【財政全体】経常的経費が増えたことなどにより、経常収支比率が高くなり、財政構造の弾力性が下がっている。
 【実施計画】厳しい財政状況ではあるが、基本計画の目標達成に向けて漏れなくかつ優先順位を見極めながら、実現可能な計画とする必要がある。
 【ふるさと納税】更なる寄付額増の検討。
 【公共施設個別計画】住民に公共施設の状況、維持するための経費見通しを十分周知し、意見をいただきながら継続検討が必要な施設について協議する必要がある。

4 今後の方向性

- ・公債費を抑えるため、地方債の発行額は臨財債を合わせて年3億円以内を基本とする。
- ・町有財産の売却・活用等により、自主財源確保に引き続き努める。
- ・返礼品充実やポータルサイトの見直し等により、ふるさと納税の収入増を図る。
- ・財政状況の改善に向け、行財政改革推進委員会の答申等を参考に、役場組織や公共施設の見直し等に取り組んでいく。
- ・財政シミュレーションを要所で随時見直し、公表していく。
- ・公共施設個別計画の住民への十分な周知及び検討が必要な施設についての協議を引き続き進めていく。

令和2年度 基本施策評価シート 6-4

施策分野	6 消防・防災・防犯、行政運営に係る施策	基本施策名	(4) 行政の効率化・地域情報化の推進
------	-----------------------------	-------	---------------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
0%	0%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1)行政運営

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	各部署の職務の状況を勘案した職員配置をしている。	①	4回(人事異動)	総務係
2	一般研修、延べ8回267人受講。	②	8回	総務係
3	指定管理者による施設管理、運営による効率的で効果的な事業展開(ハーブセンター、美術館、にぎわい、高齢者支え合い施設14)	⑤	17施設	町づくり推進係

(2)地域情報化の推進

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	広津陸郷地区光ケーブルの維持管理	①	通年	総務係
2	庁舎、美術館、創造館、交流センター、シェアベースにぎわい、観光協会のWiFi環境運営。ハーブセンターでは指定管理者により運営。	①	通年	総務係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 職員数	100人	106人	100人	100人	98人	97人	0%	0%	有	-	R2.4.1現在職員数106人	総務係	定員管理計画に基づく人数
2 住民へのアンケート調査による職員対応に対する満足度	-	-	-	-	-	80%以上	評価なし	評価なし	無	-	当該アンケートは令和5年度に実施予定。	総務係	-

3 取り組み結果、課題

【職員数】各部署の職務の状況や、休業等による職員を考慮し、増加した。
 【職員資質】職員研修は、新型コロナウイルス感染防止のため、集合型は回数を増やし密集を避け、オンラインでできる研修も実施工夫した。

4 今後の方向性

・職員体制については、定員管理計画の職員数を勘案し、職員配置人数や事務分掌を検討しつつ、効果的な体制を検討していく。
 ・よりよい住民サービスや適切な事務のため、予算で可能な研修を実施する。

令和2年度 基本施策評価シート 6-5

施策分野	6 消防・防災・防犯、行政運営に係る施策	基本施策名	(5) 行政の広域化
------	-----------------------------	-------	------------

R2目標達成度 平均	R5目標達成度 平均
100%	100%

1 令和2年度主要施策の取り組み内容、状況

(1) 広域連携、共同的な事務処理

主な取り組み		対応する 主要施策番号	回数等	担当係 ・備考
1	大町市、北安曇郡町村内で広域計画に基づき、多分野において広域行政を遂行	①	通年	町づくり推進係
2	安曇野市・松川村と連携し、地方創生推進交付金事業により特産品輸出、インバウンドに取り組む(5年事業5年目)	①	-	町づくり推進係
3	大北管内での情報システム共同処理の運用	②	通年	総務係
4	新ごみ処理施設の建設負担金の拠出(穂高広域施設組合)	①	3億4,090万円	環境整美係

2 成果指標状況

指標	R1年度	①R2年度	②R2年度	R3年度	R4年度	③R5年度	目標達成度(実績/目標)		R3予算削減		令和2年度実績値詳細	担当	備考
	実績値			目標値			R2/R2(①/②)	R2/R5(①/③)	有無	影響度			
1 広域連携で取り組む事業分野数	年9分野	年11分野	年11分野	年11分野	年11分野	11分野	100%	100%	無	-	北アルプス連携自立圏の令和2年度の取組(1若者交流・結婚支援、2子育て支援、3移住交流、4広域観光、5就労支援、6福祉、7医療・保健、8圏域マネジメント能力の強化、9公共施設の利用促進、10地域を支える人材の育成・確保、11自然と暮らしの調和)	町づくり推進係	【戦略】

3 取り組み結果、課題

<p>【取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穂高広域施設組合新ごみ処理施設令和2年12月試運転開始、令和3年3月本格受入開始。(環境整美係) ・北アルプス連携自立圏事業では、地域の課題解決に向け11分野にわたる取り組みを行い、主に若者交流、移住交流など効果的な事業展開が図れた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北アルプス連携自立圏事業で人口(負担金)の割に当町の受益者の割合がゼロに近い事業がいくつかある(病児保育運営事業、認知症初期集中支援チーム運営事業、在宅医療・介護連携支援センター運営事業)。当町の受益者を増やすことや、対象事業の見直しが必要。
--

4 今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・池田松川施設組合で管理している火葬場の老朽化に伴い、今後の運営体制について検討する必要がある。 ・北アルプス連携自立圏事業に係る県交付金の交付対象事業の見直しに伴い、経過措置として実施してきた現行事業への交付は令和3年度までとなることから、令和3年度上半期を目途に、令和4年度以降の事業のあり方等について検討を行う。 ・共同処理している事務を構成団体でも実施する、いわゆる二重行政とならないよう引き続き努める。
--